



平成 22 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 日本冶金工業株式会社
代 表 者 代表取締役社長 杉森 一太
上場取引所 東証一部
コード番号 5 4 8 0
問い合わせ先 経営企画部長 堀内 晃
(TEL 03-3273-3612)

当社連結子会社ナストーア株式会社「経営再生計画」策定及び
当社連結・個別業績への影響についてのお知らせ

今般、当社連結子会社ナストーア(株)は、抜本的収益構造の改善を行うべくステンレス溶接鋼管事業の再構築を柱とする「経営再生計画」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

また、本「経営再生計画」遂行にあたり固定資産の減損処理等を実施いたします結果、当社平成 22 年 3 月期連結及び個別業績への影響が出ますので、お知らせいたします。

記

1. ステンレス溶接鋼管事業の再構築

当社グループにおける中核事業であるステンレス溶接鋼管事業の抜本的収益構造の改善のため、以下の方策を実施致します。

(1)グループ内溶接鋼管事業再編による競争力強化

当事業を担当する当社連結子会社、ナストーア(株) (以下、ナストーアと言います。) 及び NAS TOA (Thailand) Co.,Ltd. (以下、トーアタイと言います。) の生産品目の再編を行い、それぞれの得意分野に経営資源を集中します。具体的には、小径サイズの一般管等の生産をよりコスト競争力のあるトーアタイに集中し内外市場に供給する一方、ナストーアは環境・エネルギー・水処理等の分野に向けた特殊鋼管・角管や中大径サイズの一般管等に注力する体制とします。

(2)ナストーアのコスト構造の抜本的改革

販売量に見合った生産体制の再構築に向けて人件費の削減や設備廃棄・移設等を行うとともに、「経営再生計画」実行にあたり鋼管製造拠点の減損処理や一連の事業構造改革等による損失処理を行います

これによる当社平成 22 年 3 月期連結業績への影響は事業構造改革損失(特別損失)約 24 億円、個別業績への影響は子会社株式評価損失等(特別損失)約 24 億円となる見込みであります。

2. 溶接機事業の強化

ナストーアはステンレス溶接鋼管事業とともに、自動車・車両産業、鉄鋼業向けに溶接機事業を展開しておりますが、リーマンショック後の設備投資削減の影響から受注量の激減と収益悪化を余儀なくされております。今般ステンレス溶接鋼管事業の再構築と併せ、溶接機事業についても将来を見据えた体制の整備を進めることとしました。

(1)独立採算化

ナストーアが手掛ける2事業間のシナジーは乏しいことから、今後経営が個々の事業に特化できる分社化の方向を展望していくこととし、当面は溶接機事業単独での採算確保と収益力強化を図ります。

(2)収益力強化に向けた方策

独自技術の優位性をベースに実績のある中国市場への取組みを強化するとともに、欧州・韓国さらには中国国内メーカーとの競合激化に対応するコスト競争力強化を図るなど、海外市場への積極的取組みを実施します。また、こうした海外展開やコスト競争力強化に向け、必要に応じてシナジー企業との提携も模索して行きます。

3. 経営再生計画遂行に当たっての当社支援

当社は、グループ中核事業であるステンレス溶接鋼管事業を担当するナストーアの収益改善は喫緊の課題と認識しており、同社の事業に対する全面的な支援を実施してまいりました。今回の一連の施策によりナストーアの再生及びトーアタイと一体となったステンレス溶接鋼管事業の競争力強化は可能と判断しており、引き続き、事業面はもとより資金面につきましても全面的に支援してまいります。

なお、既述いたしました今回のステンレス溶接鋼管事業の再構築に伴う損失は、本日公表しております平成22年3月期連結業績予想並びに個別業績予想に織込み済みであります。

以 上